

## 所信表明

改めまして、おはようございます。

本日ここに、町長就任後、初の本会議となる平成 27 年第 2 回東栄町議会定例会が開催されるにあたり、町政に対する所信の一端を申し述べるとともに、今回ご提案いたします議案等の概要についてご説明いたします。

その前にお詫びとお願いをさせていただきます。

本議会を迎えるに当たり、副町長、教育長が現在不在となっており、町長がひとりで臨む議会は、過去に例がないのではないかと考えており、ご心配をおかけし、大変申し訳なく思っています。本議会開会中に副町長並びに教育長の選任議案を上程させていただく予定でありますので、どうかよろしく願い申し上げます。

それでは所信を述べさせていただきます。

私も町長選挙に初めてチャレンジさせていただき、多くの町民のみなさまのご支持をいただき、町政をお預かりさせていただくこととなりました。誠に身に余る光栄であるとともに、課せられた使命と責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

初心を忘れることなく、これまで町に奉職した 38 年間の行政経験を生かし、「公平・公正な町政の推進」を基本に、人々の心が通い合う、あったかい町を町民のみなさまとともに争うことなく、全員参加で築くことが夢であり、そのことに全力を傾注する覚悟であります。なにとぞ、温かいご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

世界同時不況以来、各自治体の財政状況は悪化しています。そうした中、当町においても今後、公共施設の老朽化、病院の建設、役場庁舎の建設などを控え、5 年後には地方債の返済は 4 億円を超える見込みであります。一方、地方分権が進み、自治体の経営能力の差がまちづくりの結果に表れる時代になりました。

今回の選挙を通じて、一貫して住民のみなさまに訴えて参りましたのは、当町が置かれた厳しい財政状況の中で、「将来への明確なビジョンの再構築」、「積極的な情報公開」、そして「真の協働による住民自治のまちづくり」であります。そのために、これからの町の方針をきちんと説明することを通して、住民のみなさまにご理解いただき共感してもらうことから始めたいと思います。

「暮らし優先のまちづくり」へ4つの転換を図ります。

#### 1 暮らし第一に全力で

福祉・医療・子育て・教育に希望をもてるまちに

町内建設業や商店等が活気を取り戻し、地元が元気なまちへ力を尽くします。

#### 2 町民の声で動く町政へ

自ら地域や現地に足を運び、町民の声をしっかり受け止め、問題を率先して解決にあたります。また職員がいきいきと町民のために頑張れる環境をつくります。

#### 3 行財政運営の健全化

町民のために必要なサービスを将来にわたり安定的に提供していくため、早急に財政の健全化を図ります。

#### 4 事業仕分けの実行

すべてを公開のうえで、事業効果や町費の使い方を検討し、不要な事業を削り、町民生活に活かします。

この4つの転換を図ることが私の使命であります。

そして、すぐに実行するものとしては、みなさんとの直接対話を重視するために各地区でキャッチボールトークを開催します。

また、これからの施策を進めるために重要な町民参加による合意形成です。そのための「まちづくり基本条例」を制定します。

地域の事情に応じた暮らしの対策をすばやく実行するため、地域に職員を配置し、集落カルテを作成するための準備に取り掛かります。役場の課の再編を含め、役場内に検討チームを立ち上げ、進めて参ります。

住民のみなさまのしあわせを実現することが、行政の最大の使命です。私は、これからの4年間、町民のみなさまの期待にこたえるべく、お約束したことを着実に前進、実現して参ります。

議会の皆さまには、二元代表制のもと、より一層行政を監視していただくため、しっかりと事業の説明・報告をさせていただきます。また、議事機関である議会からの提案・ご意見を参考に町政発展のため議会と力をあわせて頑張っていく所存であります。

住民の皆さま、議員の皆さま、そして職員の皆さま、どうぞ心を一つにして「明日の東栄町のために」新たな道のりを歩んでいただきますようお願い申し

上げます。そして私は、そのために必要なコミュニケーションは決して厭わ<sup>いとわ</sup>ず、汗をかくことを惜しまず、現場を大切にする町政を実現してまいりますので、深いご理解と絶大なるお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げ所信表明とさせていただきます。

それでは、今回ご提案しています議案等の概要について、ご説明申し上げます。